

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2026年第20週
(5月11日～5月17日)

- * 2026年5月20日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<https://survey.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「忘れかけた頃にやってくるデング熱の話」も掲載しています。
- * 次回は2026年5月28日に発行予定です。

令和8年(2026年)5月21日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213 (直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：tmiph@section.metro.tokyo.jp

全数把握対象疾患 報告数 (一類～四類)

2026年20週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				
		17週	18週	19週	20週	年累計
一類	エボラ出血熱					
	クリミア・コンゴ出血熱					
	痘そう					
	南米出血熱					
	ペスト					
	マールブルグ病					
	ラッサ熱					
二類	急性灰白髄炎					
	結核	39	40	17	36	765
	ジフテリア					
	重症急性呼吸器症候群 ^{*1}					
	中東呼吸器症候群 ^{*2}					
	鳥インフルエンザ(H5N1)					
鳥インフルエンザ(H7N9)						
三類	コレラ					
	細菌性赤痢				3	11
	腸管出血性大腸菌感染症	4	4		2	66
	腸チフス			1		4
	パラチフス					1
四類	E型肝炎	5	3	1	6	63
	ウエストナイル熱					
	A型肝炎	4	1	1	5	27
	エキノコックス症					
	エムポックス	6	4	3	3	49
	黄熱					
	オウム病					
	オムスク出血熱					
	回帰熱					
	キャサヌル森林病					
	Q熱					
	狂犬病					
	コクシジオイデス症	1				1
	ジカウイルス感染症					
	重症熱性血小板減少症候群 ^{*3}		1			1
	腎症候性出血熱					
	西部ウマ脳炎					
	ダニ媒介脳炎					
	炭疽					
	チクングニア熱					
つつが虫病						
デング熱				1	9	
東部ウマ脳炎						
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)						

*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				
		17週	18週	19週	20週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症					
	日本紅斑熱					
	日本脳炎					
	ハンタウイルス肺症候群					
	Bウイルス病					
	鼻疽					
	ブルセラ症					
	ベネズエラウマ脳炎					
	ヘンドラウイルス感染症					
	発しんチフス					
	ボツリヌス症					
	マラリア		1			3
	野兔病					
	ライム病					
	リッサウイルス感染症					
	リフトバレー熱					
	類鼻疽					
レジオネラ症	1	1	1	2	46	
レプトスピラ症			1		2	
ロッキー山紅斑熱						

2026/5/20集計

(全数把握対象疾患のコメント: 一類～五類)

<二類感染症>

結核 36件 患者 17件(肺結核 11件、その他の結核 6件)、無症状病原体保有者 19件、年齢は20代 6件、30代 2件、40代 2件、50代 5件、60代 6件、70代 5件、80代 8件、90歳以上 2件、推定感染地は国内 18件、ネパール 1件、フィリピン 1件、中国 1件、不明 15件であった。

<三類感染症>

細菌性赤痢 3件 患者 3件、菌種は*Shigella flexneri*(B群) 1件、*Shigella sonnei*(D群) 1件、*Shigella flexneri*(B群) 又は *Shigella boydii*(C群) 1件、年齢は20代 1件、50代 2件、推定感染地は国内 2件、インドネシア 1件、推定感染経路は経口感染 1件、性的接触 2件(同性間 1件、性別不明 1件)であった。

腸管出血性大腸菌感染症 2件 患者 1件、無症状病原体保有者 1件、血清型・毒素型はO型別不明 VT1 2件、年齢は10代 1件、30代 1件、推定感染地は国内 1件、不明 1件、推定感染経路は経口感染 1件、不明 1件であった。

<四類感染症>

E型肝炎 6件 患者 6件、年齢は40代 1件、50代 3件、60代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 5件、タイ 1件、推定感染経路は経口感染 5件、不明 1件であった。

A型肝炎 5件 患者 5件、年齢は20代 1件、30代 2件、40代 2件、推定感染地は国内 2件、不明 3件、推定感染経路は経口感染 1件、同性間性的接触 2件、不明 2件、A型肝炎ワクチン接種歴は接種なし 2件、不明 3件であった。

エムポックス 3件 患者 3件、遺伝的系統群はクレードII 3件、性別は男性 3件、年齢は30代 2件、50代 1件、推定感染地は国内 1件、不明 2件、推定感染経路は接触感染 1件、不明 2件であった。

デング熱 1件 患者、病型はデング熱、血清型は不明、年齢は40代、推定感染地はインドネシアであった。

レジオネラ症 2件 患者 2件、病型は肺炎型 1件、ボンティアック熱型 1件、年齢は70代 2件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は水系感染 2件であった。

<五類感染症>

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 5件(うち死亡 1件) 病原菌は*Klebsiella pneumoniae* 2件、*Escherichia coli* 2件、*Enterobacter cloacae* 1件、年齢は40代 1件、50代 1件、70代 2件、80代 1件、推定感染地は国内 4件、不明 1件、推定感染経路は以前からの保菌 1件、医療器具関連感染(尿路カテーテル) 1件、手術部位感染 1件、不明 2件であった。

急性脳炎 1件 病原体はヒトヘルペスウイルス7型 1件、年齢は5歳未満、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染であった。

クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 病型は遺伝性-家族性CJD、年齢は80代であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3件(うち死亡 1件) 血清群はB群 1件、G群 2件、年齢は50代 1件、90歳以上 2件、推定感染地は国内 2件、不明 1件、推定感染経路は接触感染 1件、創傷感染 1件、不明 1件であった。

全数把握対象疾患 報告数 (五類)

2026年20週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				
		17週	18週	19週	20週	年累計
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢		1	2		39
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)		1			14
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3	4		5	42
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)					5
	急性脳炎 *1		1		1	12
	クリプトスポリジウム症					1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1		1	1	7
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	1	3	52
	後天性免疫不全症候群	3	8	3	2	102
	ジアルジア症					6
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		4	1	3	30
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1				2
	侵襲性肺炎球菌感染症	3	9	8	10	138
	水痘(入院例に限る)	3	2	1	1	39
	先天性風しん症候群					
	多剤耐性緑膿菌感染症 *2	1	2		1	9
	梅毒	51	55	30	72	1,009
	播種性クリプトコックス症					9
	破傷風				1	4
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症					
バンコマイシン耐性腸球菌感染症				1	5	
百日咳	10	20	16	24	340	
風しん					1	
麻しん	57	14	9	9	244	
薬剤耐性アシネトバクター感染症						

2026/5/20集計

*1 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

*2 2026年4月6日より追加指定された。

後天性免疫不全症候群 2件 病型は無症候性キャリア 2件、性別は男性 2件、年齢は20代 1件、40代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は同性間性的接触 2件であった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症 3件 血清型は未実施 3件、年齢は40代 2件、70代 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路はその他 2件、不明 1件、ヒブワクチン接種歴は接種なし 1件、不明 2件であった。

侵襲性肺炎球菌感染症 10件(うち死亡 1件) 血清型は未実施 10件、年齢は5歳未満 2件、5～9歳 1件、60代 3件、70代 2件、90歳以上 2件、推定感染地は国内 7件、不明 3件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染又は接触感染 1件、不明 9件、肺炎球菌ワクチン接種歴は13価4回接種済み 1件、価数不明4回接種済み 1件、価数不明2回接種済み 1件、接種なし 3件、不明 4件であった。

水痘(入院例) 1件 病型は臨床診断例、年齢は30代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明、水痘ワクチン接種歴は2回接種済みであった。

多剤耐性緑膿菌感染症 1件 年齢は90歳以上、推定感染地は国内、推定感染経路は院内感染又は医療器具関連感染(尿路カテーテル)であった。

梅毒 72件 患者 52件(早期顕症梅毒Ⅰ期 25件、早期顕症梅毒Ⅱ期 25件、晩期顕症梅毒 1件、先天梅毒 1件)、無症状病原体保有者 20件、性別は男性 46件、女性 26件、年齢は5歳未満 1件、10代 2件、20代 33件、30代 10件、40代 9件、50代 14件、60代 3件、推定感染地は国内 63件、不明 9件、推定感染経路は性的接触 62件(同性間 10件、異性間 44件、性別不明 8件)、母子感染 1件、不明 9件であった。

破傷風 1件 病型は臨床診断例、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路は創傷感染、破傷風ワクチン接種歴は不明であった。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1件 遺伝子型はvanB、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

百日咳 24件 年齢は0歳 1件、1～4歳 5件、5～9歳 3件、10代 3件、20代 5件、30代 3件、40代 2件、50代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 15件、国内又は台湾 1件、不明 8件、百日咳含有ワクチン接種歴は4回以上接種済み 7件、3回接種済み 3件、不明 14件であった。

麻しん 9件 病型は検査診断例 5件、修飾麻しん 4件、年齢は5歳未満 1件、10代 1件、20代 3件、30代 3件、40代 1件、推定感染地は国内 8件、不明 1件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 5件、接触感染 1件、不明 3件、麻しん含有ワクチン接種歴は2回接種済み 2件、1回接種済み 2件、不明 5件であった。

※ 第18週該当分として〔三類〕腸管出血性大腸菌感染症 1件の追加報告があった。
 ※ 第19週該当分として〔四類〕レジオネラ症 1件、〔五類〕梅毒 2件、百日咳 1件、麻しん 1件の追加報告があった。
 ※ 第16週で報告のあった〔五類〕梅毒 5件は削除された。

定点把握対象疾患 報告数 2026年20週

上段:報告数 下段:定点当たり

定点種別	対象疾患	2026年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		17週	18週	19週	20週		
小児科	RSウイルス感染症	72	53	23	37	263	264
		0.27	0.20	0.09	0.14		
	咽頭結膜熱	46	43	41	82		
		0.17	0.16	0.16	0.31		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	504	499	241	433		
		1.92	1.90	0.92	1.65		
	感染性胃腸炎	1,546	1,338	878	1,416		
		5.88	5.09	3.34	5.38		
	水痘	109	95	86	118		
		0.41	0.36	0.33	0.45		
	手足口病	36	35	43	109		
		0.14	0.13	0.16	0.41		
	伝染性紅斑	11	8	6	6		
		0.04	0.03	0.02	0.02		
突発性発しん	75	87	65	101			
	0.29	0.33	0.25	0.38			
ヘルパンギーナ	9	7	7	22			
	0.03	0.03	0.03	0.08			
流行性耳下腺炎	14	14	12	9			
	0.05	0.05	0.05	0.03			
川崎病 *1	6	3	3	7			
	0.02	0.01	0.01	0.03			
不明発しん症 *1	22	12	9	18			
	0.08	0.05	0.03	0.07			
急性 呼吸器 感染症	インフルエンザ *2	127	89	30	33	418	419
		0.30	0.21	0.07	0.08		
	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	226	142	78	62		
	0.54	0.34	0.19	0.15			
急性呼吸器感染症 (ARI)	24,504	23,582	14,400	19,000	418		
	58.62	56.42	34.45	45.45			
眼科	急性出血性結膜炎					39	39
	流行性角結膜炎	21	16	11	10		
		0.54	0.41	0.28	0.26		
基幹	細菌性髄膜炎 *3	1				25	25
		0.04					
	無菌性髄膜炎	3			2		
		0.12			0.08		
	マイコプラズマ肺炎	4	3	3	2		
		0.16	0.12	0.12	0.08		
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	1	1		2		
		0.04	0.04		0.08		
感染性胃腸炎 (ロタウイルス) *4	10	4	3	2			
	0.40	0.16	0.12	0.08			
インフルエンザ入院	1	1		1			
	0.04	0.04		0.04			
COVID-19入院	7	13	5	10			
	0.28	0.52	0.20	0.40			

2026/5/20 11:00集計

- *1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。
- *2 鳥インフルエンザを除く。
- *3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。
- *4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

黒太字表記:注意報レベル
赤太字表記:警報レベル

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・今週のコメントは特にありません。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2026年20週

	小児科											
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症
～5か月	4			29		2					2	
6～11か月	8	6	3	201	2	27		21	1		1	2
1歳	16	38	14	198	3	54		55	6		1	7
2歳	5	14	17	124	8	9	1	15	3	1		2
3歳	1	4	34	95	4	4		3	2		2	
4歳	1	8	62	81	4	4	2	3	1	4	1	3
5歳	1		54	92	6	5		3	1			
6歳		1	40	63	12		2		1			
7歳		4	52	67	14	2			1			
8歳		1	42	62	14			1				2
9歳		1	28	69	13					1		
10～14歳	1	2	57	172	34	2	1		3	3		1
15～19歳			6	54	2				2			1
20～29歳		3	24	109	2				1			
30～39歳												
40～49歳												
50～59歳												
60～69歳												
70～79歳												
80歳以上												
合計	37	82	433	1,416	118	109	6	101	22	9	7	18
先週比	14	41	192	538	32	66		36	15	-3	4	9

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。

	急性呼吸器感染症			眼科		基幹						
	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	急性呼吸器感染症(ARI)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	インフルエンザ入院	COVID-19入院
～5か月	2											
6～11か月		2	1,922								1	1
1歳	2	5										1
2歳		4	7,061									
3歳		1										
4歳	1	1						1				
5歳	1	1										2
6歳	2	2										2
7歳	1	1	2,868									
8歳	1							1				
9歳	1	1							1			
10～14歳	5	10	1,550							1		
15～19歳	4	9	721									
20～29歳	7	7	829		1							
30～39歳	1	3	964		3							
40～49歳	1	7	877									
50～59歳	1	5	784		2							
60～69歳	2	1	652		3							
70～79歳		1	449		1				1		1	1
80歳以上	1	1	323				2					3
合計	33	62	19,000		10		2	2	2	2	1	10
先週比	3	-16	4,600		-1		2	-1	2	-1	1	5

注:急性呼吸器感染症(ARI)の10歳未満は「0歳」「1～4歳」「5～9歳」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】 2026年20週

	小児科											
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症
千代田	0.33			3.67				0.33				0.33
中央区			1.00	6.33	0.67	0.67		0.33				
みなと			1.17	2.83	1.33	0.83		0.50		0.17		
新宿区			0.63	2.25		0.38		0.13			0.13	0.13
文京	0.50	0.25	1.75	5.75		0.50		0.25	0.25			0.25
台東		0.50	0.50	14.00	1.50	0.50		0.25				
墨田区		0.60	0.60	1.40	0.60	0.40		0.40	0.20			
江東区		0.56	2.00	7.67	0.78	0.56	0.11	0.56	0.11	0.22	0.11	
品川区	0.86	0.29	1.29	3.00	0.14	0.14		0.43				0.14
目黒区			1.40	3.00	0.80	0.20		0.20				0.80
大田区	0.15	0.85	1.38	6.54	0.08	0.23		0.38	0.08		0.08	0.15
世田谷	0.13	0.13	1.25	5.19	0.19	0.13	0.06	0.06	0.06	0.06		
渋谷区			0.25	11.25		0.25	0.25					
中野区	0.33	0.33	2.17	2.67	0.17	1.67		0.67				
杉並	0.45	0.73	0.91	3.36	0.45	0.09		0.09			0.09	
豊島区	0.20	0.20	0.80	1.80	0.20				0.80			
北区	0.14	0.29	1.57	5.43				0.57	0.14	0.14		
荒川区	0.50		2.00	5.00	1.25	1.75		0.75				
板橋区	0.20	0.30	0.90	4.50	0.10	0.20		0.20	0.10			
練馬区		0.31	2.15	6.31	0.15	0.15		0.38	0.23			
足立		0.85	2.46	3.23		0.08		0.46			0.15	
葛飾区		0.13	1.00	4.38	0.38	0.25		0.25	0.13			0.13
江戸川	0.17	0.33	2.33	6.33	0.75	0.58	0.08	0.33	0.08			0.17
八王子市	0.27	0.18	2.64	6.09	0.82	0.91		0.18	0.18			0.09
町田市	0.25	0.25	5.38	14.63	1.50	1.50	0.25	1.00	0.25			0.13
西多摩		0.13	0.88	2.25		0.13						
南多摩	0.11		1.00	4.89	0.44	0.11		0.56				
多摩立川	0.07		1.71	2.43	0.50	0.29		0.07		0.07		
多摩府中	0.05	0.10	1.24	5.14	0.81	0.43		0.52	0.10	0.14	0.05	0.05
多摩小平	0.07	0.87	2.93	10.60	0.47	0.73		1.20				0.13
島しょ												

東京都	0.14	0.31	1.65	5.38	0.45	0.41	0.02	0.38	0.08	0.03	0.03	0.07
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

	急性呼吸器感染症			眼科		基幹						
	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	急性呼吸器感染症 (ARI)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院	COVID-19入院
千代田			23.00									
中央区	0.20		33.60		1.00							
みなと		0.22	38.00									
新宿区	0.08		23.33									
文京	0.14	0.43	68.71									
台東	0.43		54.57									
墨田区		0.25	15.75									
江東区			56.64									
品川区	0.27		29.82									
目黒区			26.50									
大田区		0.14	36.52		0.50							
世田谷	0.04	0.08	43.28									
渋谷区	0.14	0.29	36.57									4.00
中野区			78.50									
杉並	0.24	0.59	23.94					0.50	0.50			
豊島区	0.13		42.25		4.00							
北区		0.09	37.09									
荒川区	0.14	0.43	59.00									
板橋区		0.06	33.50		0.50							
練馬区	0.10	0.10	41.00									
足立	0.05	0.10	54.90									
葛飾区	0.08	0.08	35.92						1.00	1.00		1.00
江戸川	0.11	0.16	47.79									
八王子市	0.06	0.11	94.50									
町田市	0.15		88.77									
西多摩		0.14	21.71					1.00		1.00		
南多摩	0.07	0.14	44.79									
多摩立川	0.14	0.19	26.86		0.50		1.00					1.00
多摩府中		0.03	48.52		0.67							1.00
多摩小平	0.13	0.61	65.39				0.50				0.50	0.50
島しょ			7.50									

東京都	0.08	0.15	45.45		0.26		0.08	0.08	0.08	0.08	0.04	0.40
-----	------	------	-------	--	------	--	------	------	------	------	------	------

注:表中グレー部分は該当する定点医療機関がない。

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2026年20週

	小児科											
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症
千代田	1			11				1				1
中央区			3	19	2	2		1				
みなと			7	17	8	5		3		1		
新宿区			5	18		3		1			1	1
文京	2	1	7	23		2		1	1			1
台東		2	2	56	6	2		1				
墨田区		3	3	7	3	2		2	1			
江東区		5	18	69	7	5	1	5	1	2	1	
品川区	6	2	9	21	1	1		3				1
目黒区			7	15	4	1		1				4
大田区	2	11	18	85	1	3		5	1		1	2
世田谷	2	2	20	83	3	2	1	1	1	1		
渋谷区			1	45		1	1					
中野区	2	2	13	16	1	10		4				
杉並	5	8	10	37	5	1		1			1	
豊島区	1	1	4	9	1				4			
北区	1	2	11	38				4	1	1		
荒川区	2		8	20	5	7		3				
板橋区	2	3	9	45	1	2		2	1			
練馬区		4	28	82	2	2		5	3			
足立		11	32	42		1		6			2	
葛飾区		1	8	35	3	2		2	1			1
江戸川	2	4	28	76	9	7	1	4	1			2
八王子市	3	2	29	67	9	10		2	2			1
町田市	2	2	43	117	12	12	2	8	2			1
西多摩		1	7	18		1						
南多摩	1		9	44	4	1		5				
多摩立川	1		24	34	7	4		1		1		
多摩府中	1	2	26	108	17	9		11	2	3	1	1
多摩小平	1	13	44	159	7	11		18				2
島しょ												

東京都合計	37	82	433	1,416	118	109	6	101	22	9	7	18
-------	----	----	-----	-------	-----	-----	---	-----	----	---	---	----

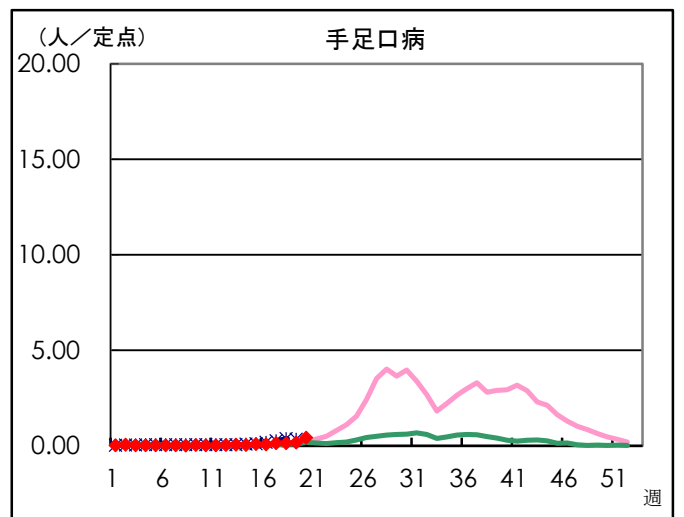
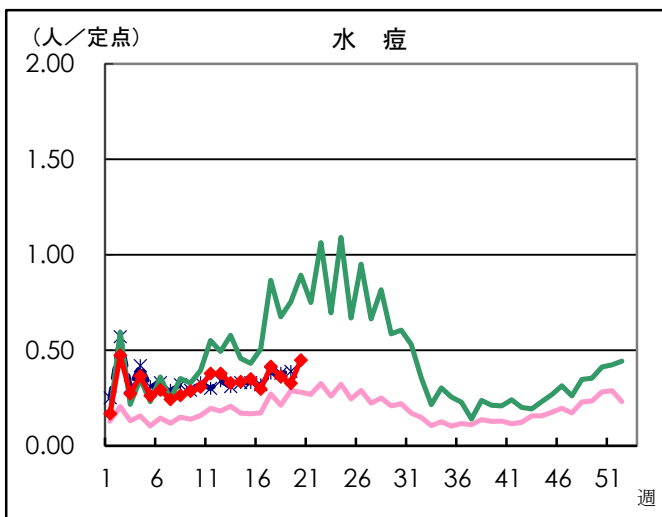
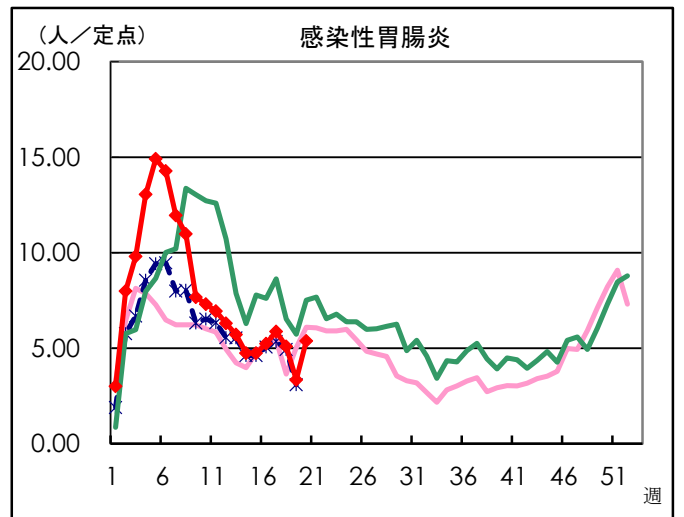
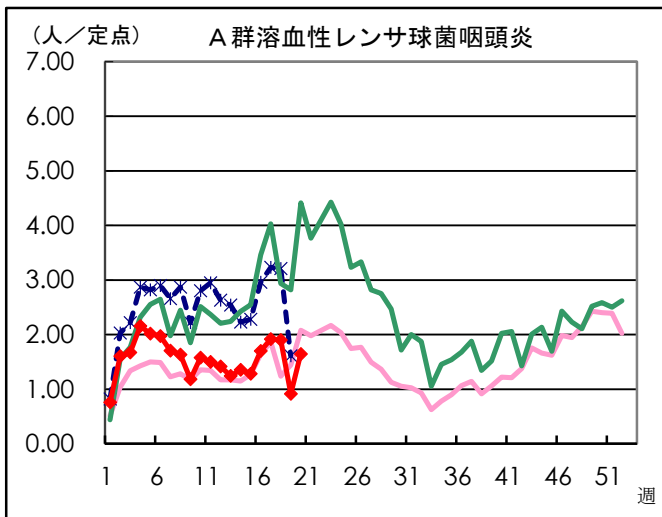
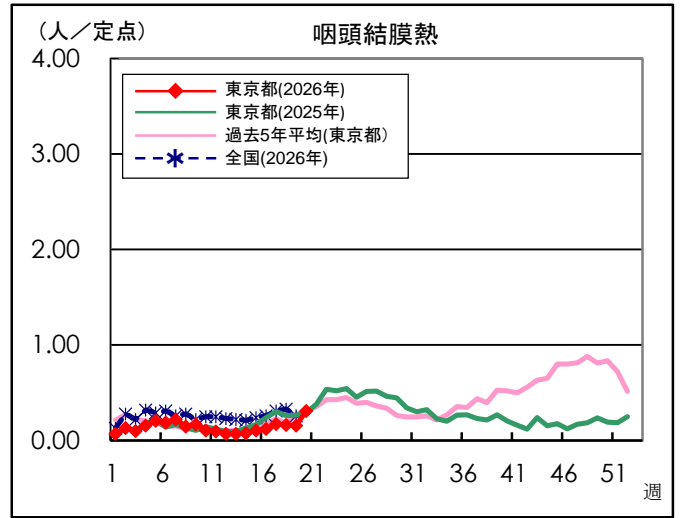
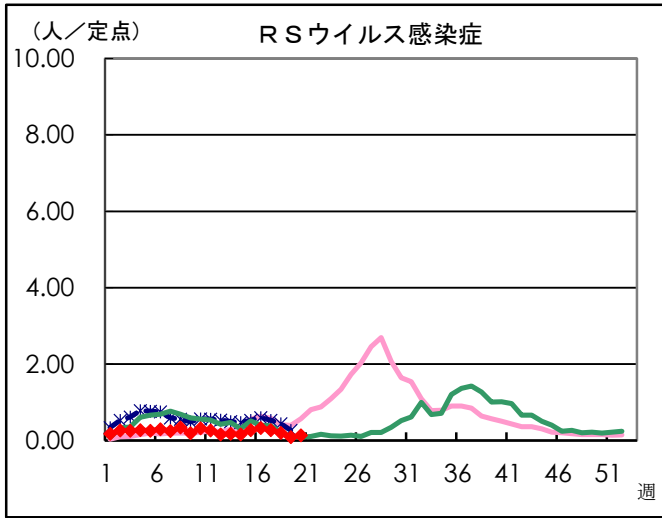
	急性呼吸器感染症			眼科		基幹						
	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	急性呼吸器感染症 (ARI)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院	COVID-19入院
千代田			92									
中央区	1		168		1							
みなと		2	342									
新宿区	1		280									
文京	1	3	481									
台東	3		382									
墨田区		2	126									
江東区			793									
品川区	3		328									
目黒区			212									
大田区		3	767		1							
世田谷	1	2	1,082									
渋谷区	1	2	256									4
中野区			785									
杉並	4	10	407					1	1			
豊島区	1		338		4							
北区		1	408									
荒川区	1	3	413									
板橋区		1	536		1							
練馬区	2	2	861									
足立	1	2	1,098									
葛飾区	1	1	467						1	1		1
江戸川	2	3	908									
八王子市	1	2	1,701									
町田市	2		1,154									
西多摩		2	304					1		1		
南多摩	1	2	627									
多摩立川	3	4	564		1		1					1
多摩府中		1	1,601		2							3
多摩小平	3	14	1,504				1				1	1
島しょ			15									

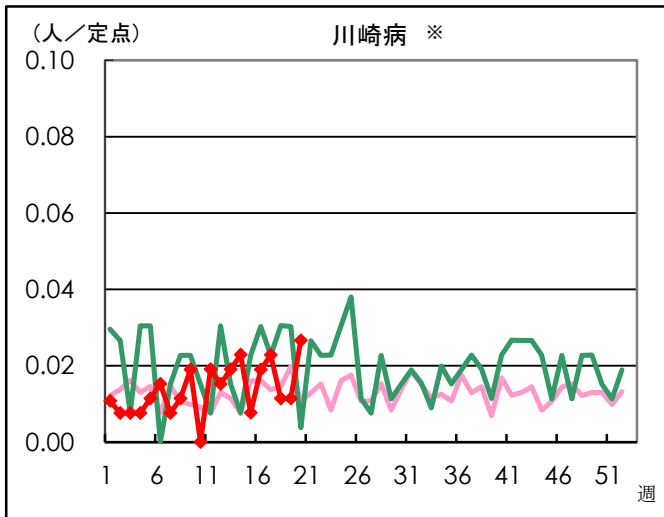
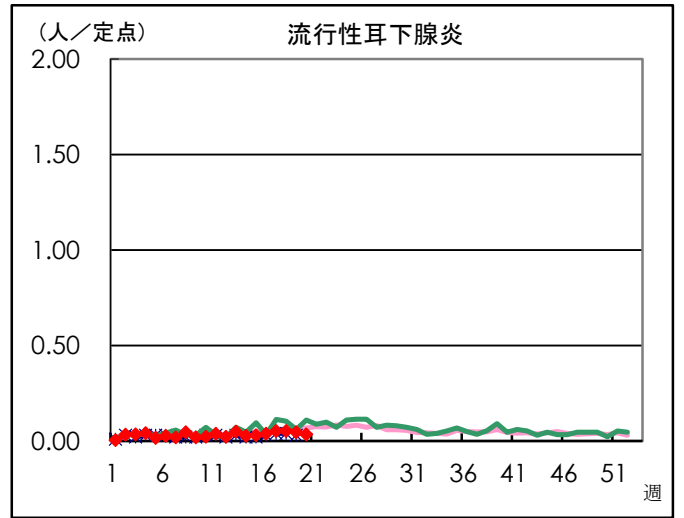
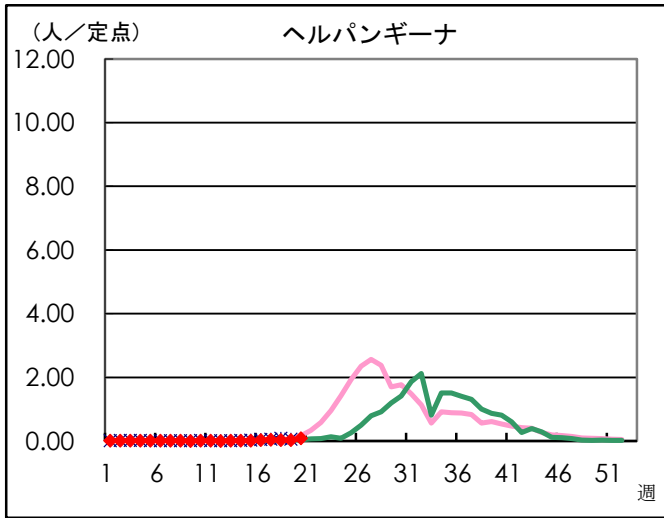
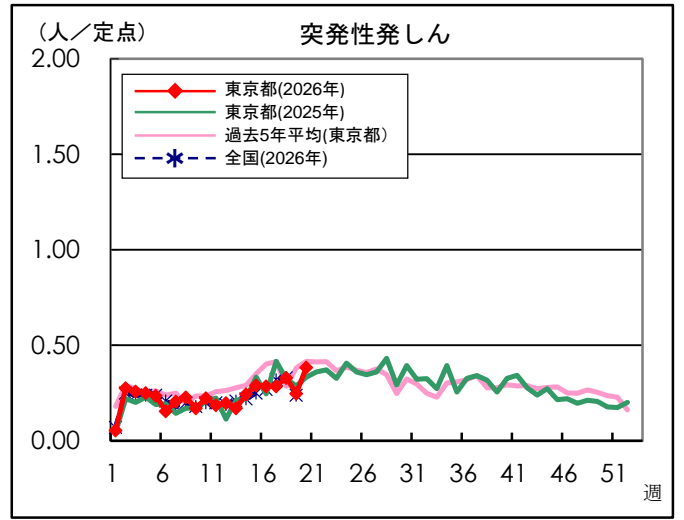
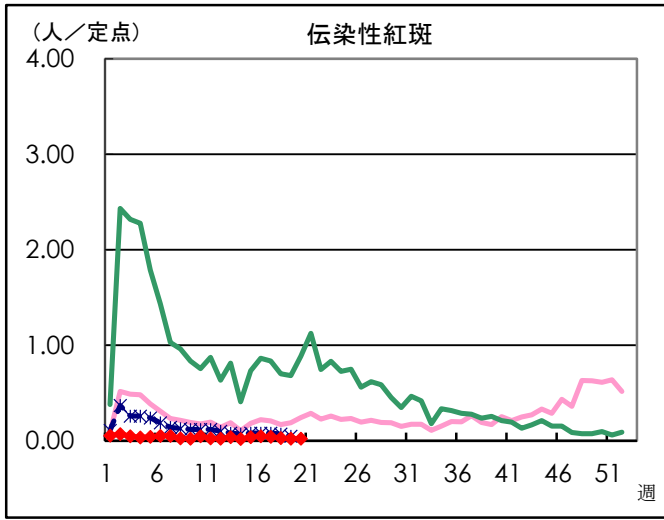
東京都合計	33	62	19,000		10		2	2	2	2	1	10
-------	----	----	--------	--	----	--	---	---	---	---	---	----

注:表中グレー部分は該当する定点医療機関がない。

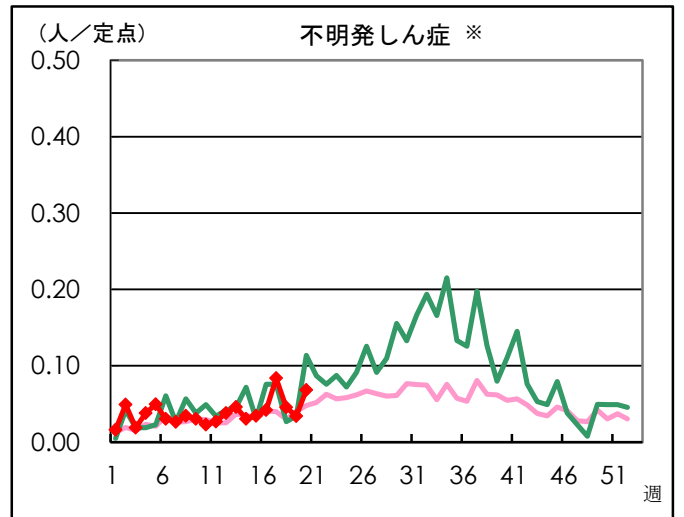
定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2026年20週 現在)

◆小児科定点



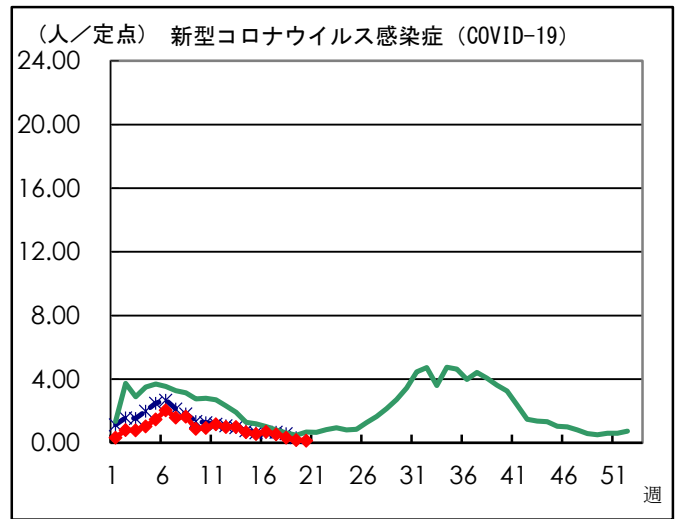
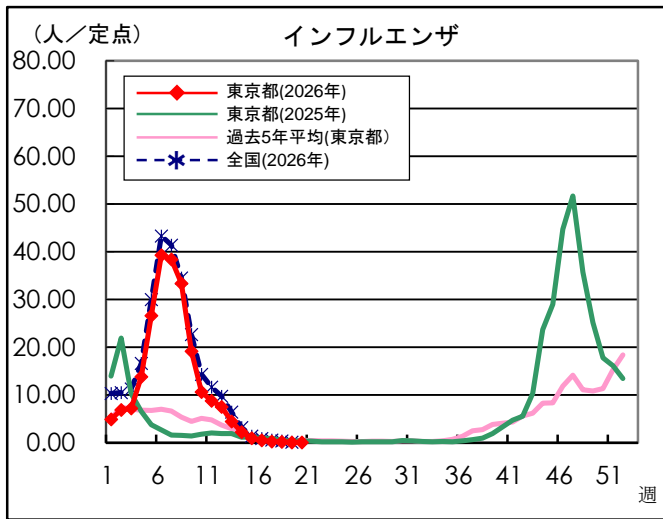


※ 東京都独自対象疾患

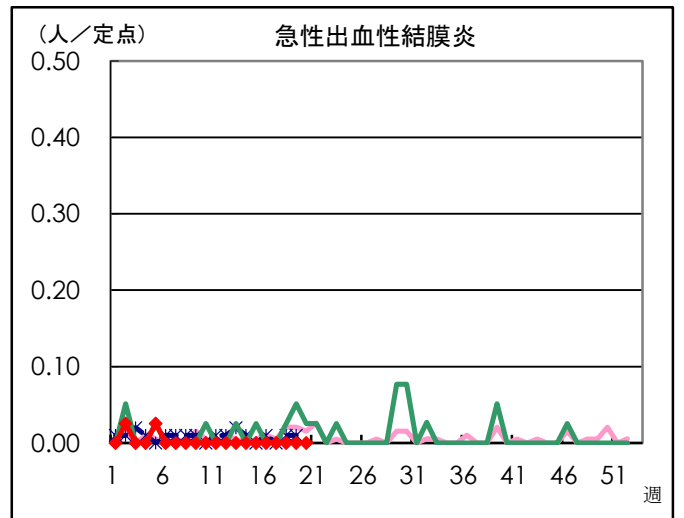
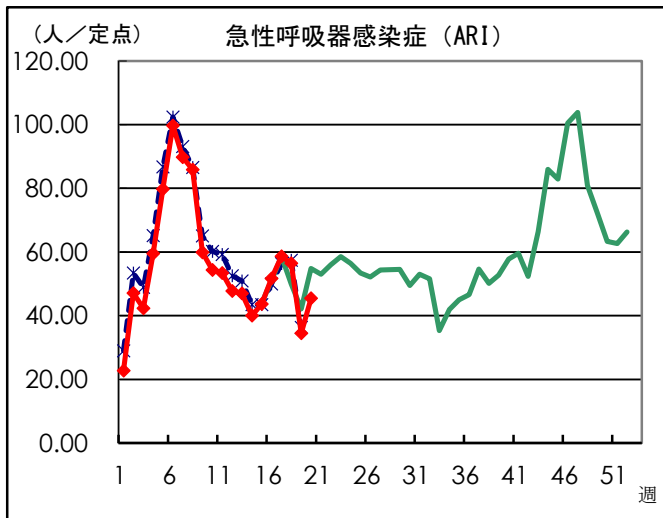


※ 東京都独自対象疾患

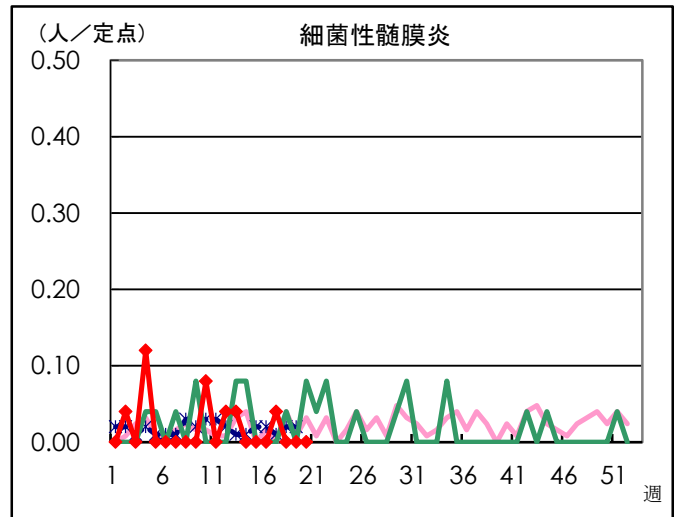
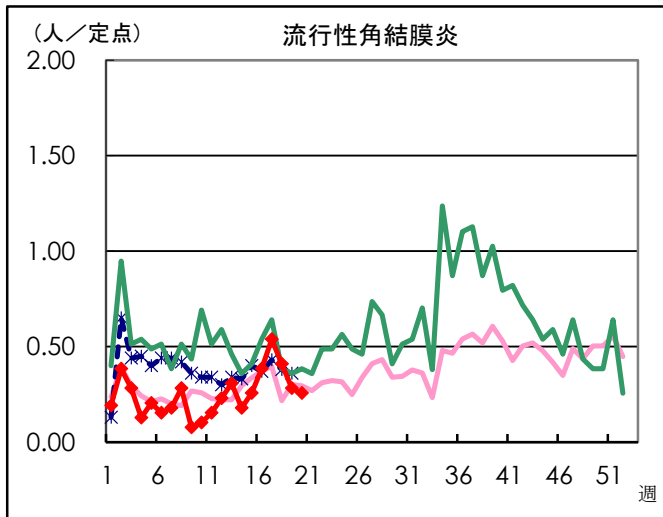
◆急性呼吸器感染症定点



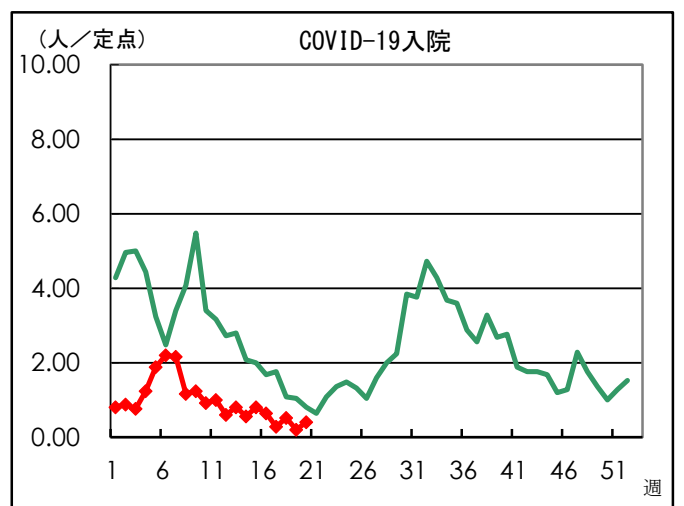
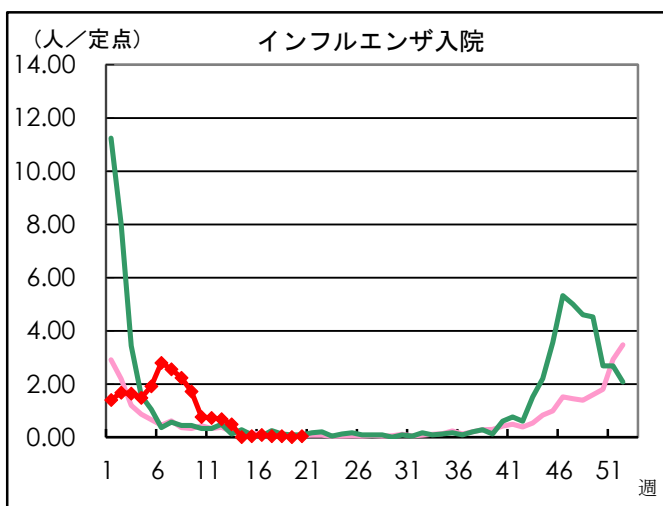
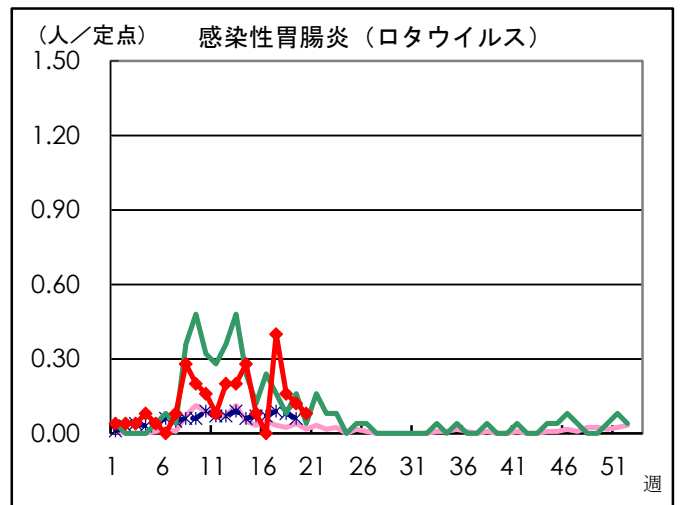
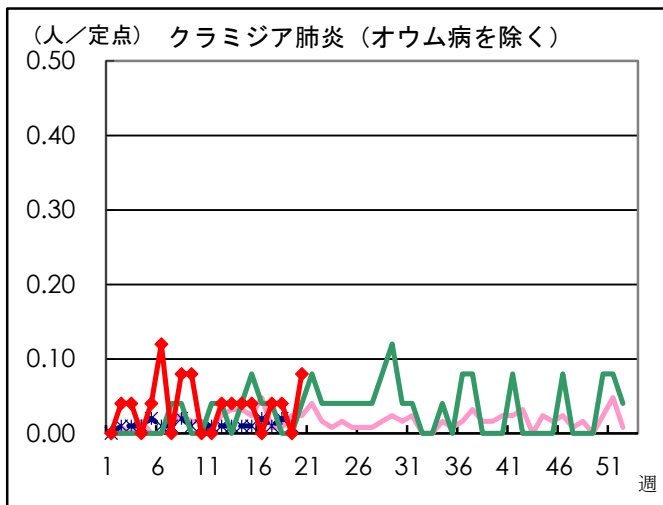
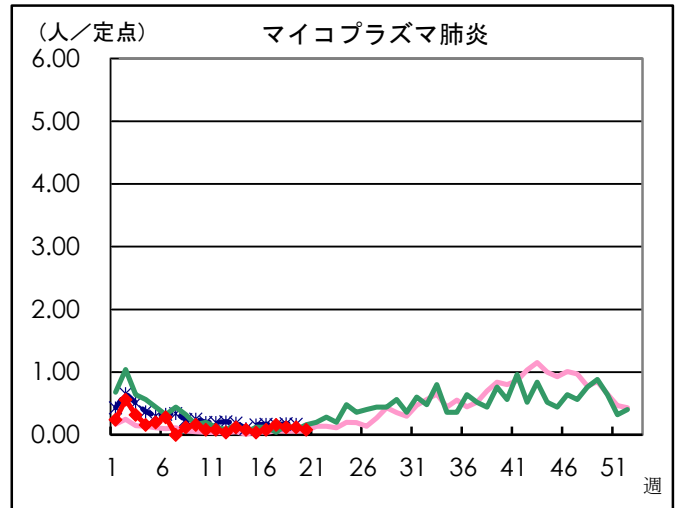
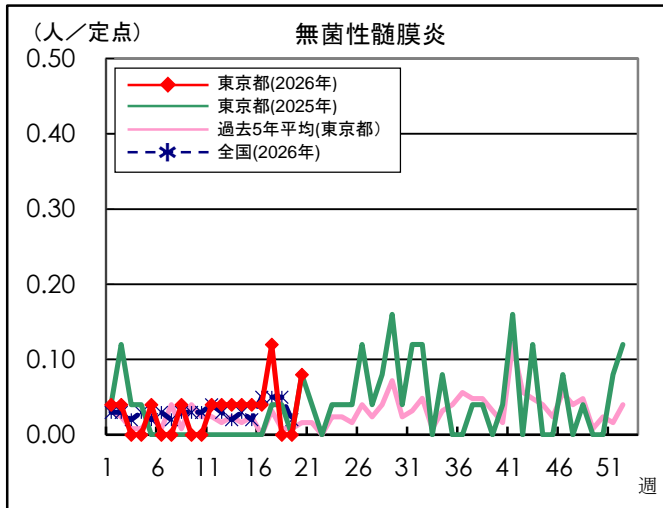
◆眼科定点



◆基幹定点



◆ 基幹定点



定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
4/19	無菌性髄膜炎	13	髄液	ムンプスウイルスB型
4/20	新型コロナウイルス感染症	45	鼻咽頭拭い液	SARS-CoV-2
4/20	急性呼吸器感染症(その他)	3	咽頭拭い液	ライノウイルス
4/20	不明発しん症	7M	咽頭拭い液	ライノウイルス
4/21	急性呼吸器感染症(その他)	6M	鼻汁	パラインフルエンザウイルス3型
4/21	急性呼吸器感染症(その他)	8M	鼻咽頭拭い液	ライノウイルス
4/21	急性呼吸器感染症(その他)	1	記載なし	ライノウイルス
4/21	急性呼吸器感染症(その他)	1	鼻咽頭拭い液	ライノウイルス
4/21	急性呼吸器感染症(その他)	2	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス
4/21	急性呼吸器感染症(その他)	2	鼻咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス3型 アデノウイルス1型 ライノウイルス
4/21	急性呼吸器感染症(その他)	2	鼻汁	ライノウイルス
4/21	急性呼吸器感染症(その他)	3	鼻汁	ヒトメタニューモウイルス
4/21	急性呼吸器感染症(その他)	3	鼻汁	ヒトメタニューモウイルス ライノウイルス
4/21	急性呼吸器感染症(その他)	3	鼻汁	ライノウイルス
4/21	急性呼吸器感染症(その他)	5	咽頭拭い液	ライノウイルス
4/21	急性呼吸器感染症(その他)	6	鼻咽頭拭い液	ライノウイルス
4/21	急性呼吸器感染症(その他)	6	鼻咽頭拭い液	ライノウイルス
4/21	急性呼吸器感染症(その他)	8	鼻汁	ライノウイルス
4/21	急性呼吸器感染症(その他)	10	咽頭拭い液	ライノウイルス
4/21	急性呼吸器感染症(その他)	11	咽頭拭い液	ライノウイルス
4/21	急性呼吸器感染症(その他)	12	咽頭拭い液	ライノウイルス
4/21	急性呼吸器感染症(その他)	14	鼻咽頭拭い液	ライノウイルス
4/21	急性呼吸器感染症(その他)	15	咽頭拭い液	ライノウイルス
4/21	急性呼吸器感染症(その他)	23	咽頭拭い液	ライノウイルス
4/22	新型コロナウイルス感染症	37	鼻咽頭拭い液	SARS-CoV-2
4/22	急性呼吸器感染症(その他)	40	鼻腔拭い液	ライノウイルス
4/23	咽頭結膜熱	1	咽頭拭い液	アデノウイルス2型 エンテロウイルス(型別不能)
4/23	急性呼吸器感染症(その他)	10M	鼻咽頭拭い液	アデノウイルス1型
4/23	急性呼吸器感染症(その他)	3	鼻咽頭拭い液	ライノウイルス
4/23	水痘	8	咽頭拭い液	水痘・帯状疱疹ウイルス(野生株)
4/23	突発性発しん	1	鼻咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型
4/23	流行性角結膜炎	39	結膜拭い液	アデノウイルスD種

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH3亜型	B型Victoria系統	B型Yamagata系統
2026年17週	1			
2025-2026年 シーズン累計*	15	438	286	

* 2025-2026年シーズンの開始は第36週(2025年9月1日～)

※ この他、ワクチンタイプ(経鼻弱毒生ワクチン由来タイプ)がシーズン累計で6件検出された。

病原体検出情報【週別】

検出病原体	2026年							
	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週
アデノウイルス	4	2	1	2	2	1		4
コクサッキーウイルスA群							1	
コクサッキーウイルスB群								
エコーウイルス								
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス								1
ライノウイルス	6	7	10	8	12	10	21	21
ヒトメタニューモウイルス	5		4	3	4	5	11	3
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス		1		1		1		1
ヒトヘルペスウイルス6型・7型	2					1		1
EBウイルス								
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス							1	
麻疹ウイルス								
麻疹A型(ワクチンタイプ)								
風しんウイルス								
風しん1a型(ワクチンタイプ)								
ヒトパルボウイルスB19								
RSウイルス		1	1		1	2	2	
ノロウイルス	3	1	1					
ロタウイルス			1					
サポウイルス								
インフルエンザウイルスAH1pdm09				1				1
インフルエンザウイルスAH3亜型	1					1		
インフルエンザウイルスB型Victoria系統	11	24	14	10	12	5	2	
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統								
インフルエンザウイルス(ワクチンタイプ)								
SARS-CoV-2	3	10	4	5	1		1	2
その他のウイルス	1	1	1	1	1	5	4	2
A群溶血性レンサ球菌T-1型								
A群溶血性レンサ球菌T-3型								
A群溶血性レンサ球菌T-4型		1						
A群溶血性レンサ球菌T-12型								
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型								
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型					1			
A群溶血性レンサ球菌その他のT型								
A群溶血性レンサ球菌T型別不能	1							
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ	2	2						
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								

病原体検出情報【臨床診断名別】

2026年10週～2026年17週

	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	ヘルパンギーナ	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	急性呼吸器感染症(その他)	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性性紅斑	突発性発疹	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
搬入検体数	2	3	4	84	22	281	14	6	2	1	4	1		7		5			1	1	
アデノウイルス		1		2		10	1									2					
コクサッキーウイルスA群															1						
コクサッキーウイルスB群																					
エコーウイルス																					
エンテロウイルス71																					
その他のエンテロウイルス		1																			
ライノウイルス	1			4		87		1							2						
ヒトメタニューモウイルス				1		34															
単純ヘルペスウイルス																					
水痘・帯状疱疹ウイルス								4													
ヒトヘルペスウイルス6型・7型															1						
EBウイルス																					
サイトメガロウイルス																					
ムンプスウイルス																				1	
麻疹ウイルス																					
麻疹A型(ワクチンタイプ)																					
風しんウイルス																					
風しん1a型(ワクチンタイプ)																					
ヒトパルボウイルスB19																					
RSウイルス	1					6															
ノロウイルス								5													
ロタウイルス								1													
サボウイルス																					
インフルエンザウイルスAH1pdm09				2																	
インフルエンザウイルスAH3亜型				2																	
インフルエンザウイルスB型Victoria系統				69		9															
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統																					
インフルエンザウイルス(ワクチンタイプ)																					
SARS-CoV-2					21	5															
その他のウイルス						16															
A群溶血性レンサ球菌T-1型																					
A群溶血性レンサ球菌T-3型																					
A群溶血性レンサ球菌T-4型			1																		
A群溶血性レンサ球菌T-12型																					
A群溶血性レンサ球菌T-25型																					
A群溶血性レンサ球菌T-28型																					
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型			1																		
A群溶血性レンサ球菌その他のT型																					
A群溶血性レンサ球菌T型別不能			1																		
百日咳菌																					
肺炎マイコプラズマ			2			2															
肺炎クラミジア																					
髄膜炎菌																					
B群レンサ球菌																					
肺炎球菌																					
インフルエンザ菌																					
黄色ブドウ球菌																					
大腸菌																					
その他の細菌																					
その他の病原体																					

<感染症豆知識>

忘れかけた頃にやってくるデング熱の話

代々木公園でデング熱の国内感染が話題になってから、すでに十年以上が経過した。その後は国内で大きな流行がなかったこともあり、当時の印象は徐々に薄れてきている。しかし世界に目を向けてみると、2025年末にWHOが発表した2024年のデング熱流行状況から、世界約1,443万例、死亡約1.1万人という前例のない規模であったことが判明した。続く2025年もその影響が続き、依然として高いレベルの流行が続いており、外来診療でも輸入症例を念頭に置く必要性はかつてより高まっている。東京都では、輸入デング熱が年間を通じて散発しており、多くは東南アジアでの滞在中に起きているものである。

デング熱は、疑わなければ見つけにくい疾患である。初期症状は非特異的で、発疹や血小板減少も後から出現するため、初診時には決め手に欠けることが多い。したがって、まずは流行国への渡航歴が重要な手がかりとなる。さらに、血小板減少と強い筋肉痛（とくに背部痛）があれば、デング熱を優先して考えるべきである。確定診断にはNS1抗原検査が外注で利用可能であるが、結果が翌日以降となる。急ぎの判断が必要な場合や重症が疑われる場合には、感染症専門病院への紹介が望ましい。

ピットフォールを二つ。まず、重症化は解熱期に起こりやすいことである。熱が下がって安心した頃に血管透過性が急に上がり、ショックに至ることがあるため、この時期の観察が欠かせない。患者には「熱が下がっても油断しないでほしい」「むしろこの時期こそ注意が必要である」と短く伝えておくとう理解されやすい。体調の急な変化があれば早めの再受診を促すことが望ましい。また、NS1抗原が陰性でもチクングニア熱の可能性もある点にも注意したい。関節痛が非常に強い場合はチクングニア熱を疑い、専門医へのコンサルトを検討すべきである。

(文責 順天堂大学医学部 熱帯医学・寄生虫病学講座教授 美田敏宏)